

#### **四人の天正遣欧使節がローマ教皇に謁見する**

イエズス会の巡察師アレックスandro・ヴァリニャーノは、日本からヨーロッパに使節を送ることを発案した。1582年、有馬のセミナリオで学んでいた四人の少年たちからなる天正遣欧使節が長崎を出発した。マカオ、ゴア、喜望峰を経由した後、使節はついにリスボンに到着し、スペイン国王フィリップ2世および二人のローマ教皇、グレゴリウス13世とシクストゥス5世に謁見した。

1571年以降、ポルトガル船の入港がもたらした貿易の機会によって通商の拠点となっていた長崎には、多くのヨーロッパの商人や宣教師たちが在住していた。1580年、キリシタン大名大村純忠は長崎をイエズス会に寄進し、イエズス会はその後7年間長崎を統治した。この間、長崎の町の中心に10を超える教会堂が建設された。

(挿画：庄司好孝)